

川崎臨海部研究開発機能強化補助金事業を認定しました

川崎市では、臨海部の持続的な発展に寄与する新産業の創出を促進し、本市のみならず我が国の経済や社会の発展をけん引する新たな戦略拠点を形成することを目的として、臨海部の中で戦略的に土地利用を推進する地域（キングスカイフロント及び南渡田地区）において研究所等を新設する場合に、補助金を交付する川崎臨海部研究開発機能強化補助金を運用しています。

この度、同制度に基づき、南渡田地区における賃貸型のR&D施設の新設に関する事業計画について、ヒューリック株式会社（本社：東京都中央区）から申請を受け、同地区における研究開発拠点の形成に資するものであると認められたことから、令和8年3月30日付けで認定しました。

なお、同制度に基づく認定は、これが初めてとなります。

1 今回の事業計画の概要

- (1) 事業計画名：(仮称)研究棟B 新築計画
- (2) 立地場所（所在地）
川崎市川崎区南渡田町13番1の一部、17番32の一部
- (3) 事業内容
賃貸型のR&D施設の新設
- (4) 事業着手日 令和5年3月30日
- (5) 事業完了予定日 令和10年3月31日
- (6) 投下固定資産額 約420億円
- (7) 認定額 20億円

2 企業の概要

- (1) 企業名・代表者名
ヒューリック株式会社 代表取締役社長 前田 隆也
(東京都中央区日本橋大伝馬町7番3号)
- (2) 資本金 111,609,000,000円（令和6年12月末時点）
- (3) 業種 不動産業

3 川崎臨海部研究開発機能強化補助金の概要

対象事業	投下固定資産額	常用雇用者数	補助率	補助上限額
自社で研究を行う施設を新設する場合	50億円以上 (中小企業は5億円以上)	50人以上 (中小企業は10人以上)	研究所：12% 事務所・工場：9%	20億円
賃貸型のR&D施設を新設する場合	20億円以上 (中小企業は5億円以上)		6%	

本件は、賃貸型のR&D施設の新設について申請があったものです。

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部事業推進部 田中
電話044-200-0524

2025年12月26日
ヒューリック株式会社
(コード番号 3003 東証プライム)

各位

「(仮称)南渡田北地区北側開発 研究棟 B」着工 ～延床 10 万㎡超・国内最大級^(※)の次世代リサーチパーク開発プロジェクト始動～

ヒューリック株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:前田隆也、以下「当社」)は、川崎市で開発を推進している「(仮称)南渡田北地区北側開発」の中核施設である「研究棟 B」につき、新築工事に着手しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、川崎臨海部における大規模土地利用転換の先鞭をつける南渡田北地区北側(開発面積 5.6ha)において、研究施設のほか、研究者の日常利便性を支える商業施設エリアを整備する大型複合用途開発です。

今般着工した研究棟 B では、最小 100 ㎡から 1 フロア(約 6,700 ㎡)まで大小さまざまな区画面積を有する賃貸研究施設として、大型機器対応可能な階高・耐荷重を兼ね備えたフロアに加え、危険物・高圧ガスの取り扱いを可能な仕様とし、多種多様な実験を実現する自由度の高い研究環境を整備します。

研究拠点としてオープンイノベーションを促進する交流エリア(コミュニティ棟)も併設し、川崎市の目指す「マテリアルから世界を変える産業拠点の形成」を進めてまいります。

(※)当社調べ



「研究棟 B」および「コミュニティ棟」 外観イメージ

■計画概要((仮称)南渡田北地区北側開発 研究棟 B)

所在地	神奈川県川崎市川崎区南渡田町13番1ほか(地番)
交通(※)	鉄道:JR南武支線、JR鶴見線「浜川崎」駅 徒歩3分 バス:JR「川崎」駅から各停留所(3ヶ所)まで15分、各停留所から徒歩1~3分 ※まちびらきに合わせ、川崎駅から直通のBRTが開通予定
敷地面積	約15,400㎡(約4,660坪)
延床面積	約62,000㎡(約18,750坪)
階数	地上9階
竣工	2028年3月(予定)

(※)徒歩分数は開発区域まで

■地図



■イメージパース(コミュニティ棟)



■鳥瞰イメージパース((仮称)南渡田北地区北側開発 全体)



※計画概要・イメージパースは現時点のものであり、今後変更になる場合があります。

※本リリースに掲載されているイメージパース内の周辺建物は、Vexcel Imaging US社の都市モデルを使用しています。

以上

本件に関するお問い合わせ窓口
ヒューリック株式会社 広報・IR部
TEL 03-5623-8102 FAX 03-5623-8125